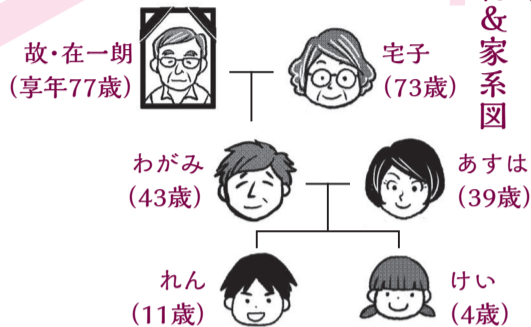


かしわ家 在宅医療ものがたり

市では、在宅医療・介護を含む、地域包括ケアシステムを早くからつくりあげ、全国から注目されています。このコーナーでは、市内に暮らす「かしわ家」を例に、誰にでも起こりうる問題と役立つ市の取り組みを、全9回にわたって楽しく分かりやすく紹介します。

〒 地域医療推進課 ☎7197-1510

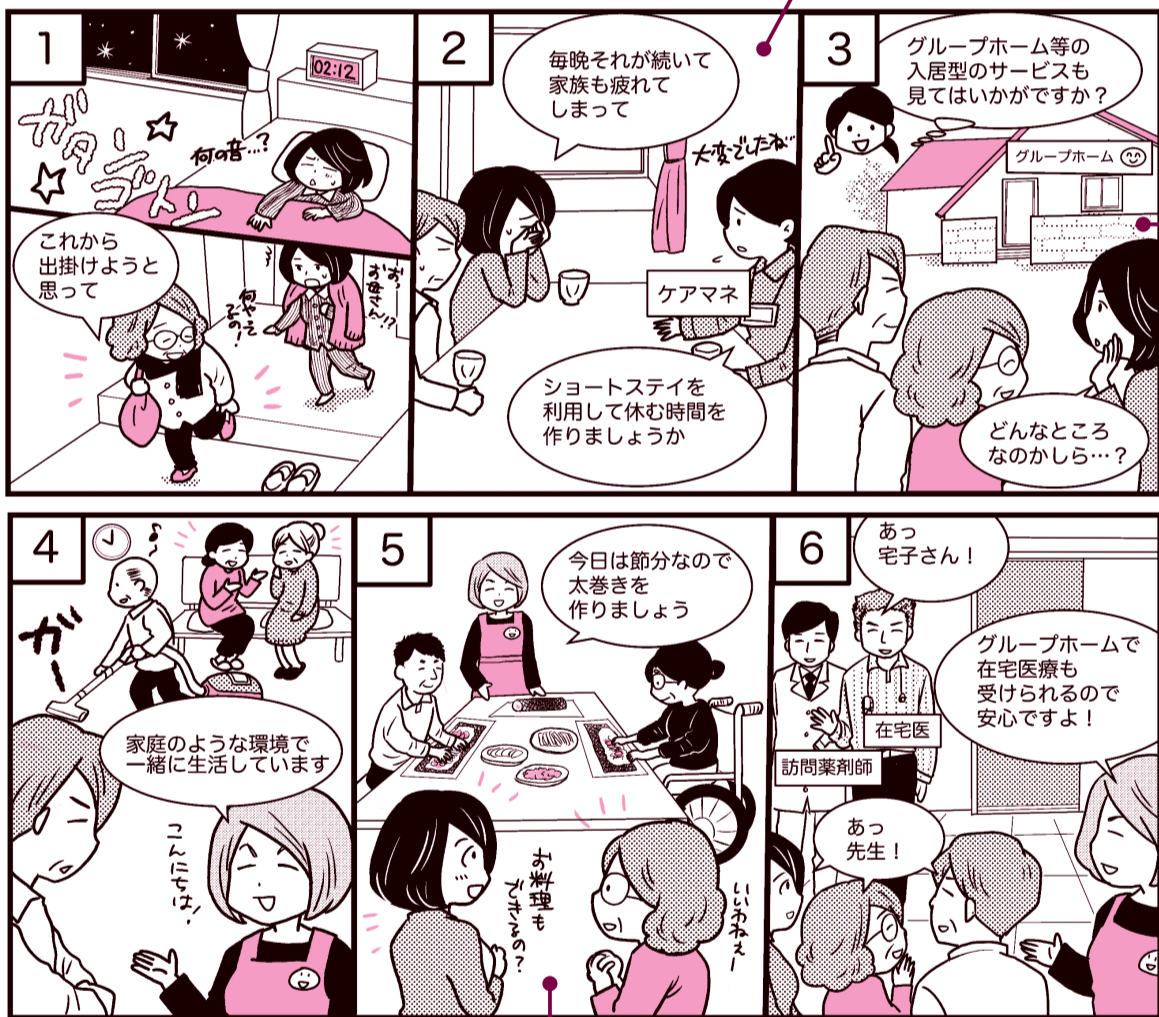
かしわ家
登場人物 & 家系図



第8話～グループホーム編～

おばあちゃんらしく 過ごせる場所

おばあちゃんの認知症の症状がだんだんと進んできた様子です。あすはさん、大丈夫でしょうか…？



ショートステイとは

短期間(1泊～数週間程度)施設に宿泊しながら、日常生活上の介護を受けることができるサービスです。

グループホームとは

正式名称を「認知症対応型共同生活介護」といい、認知症の症状のある高齢者が少人数(5～9人)で共同生活をしながら、家庭的な雰囲気の中で介護を受けることができる施設のことで、約半数の事業所が看取(みとり)まで行っています。利用料金や空き情報などについては、地域包括支援センターに電話するか、柏市グループホーム連絡会のホームページをご覧ください。



▲柏市グループホーム連絡会のホームページはこちら

日常生活の中で、ご本人ができることを継続して支援するのもグループホームの特徴です。

柏の在宅医療を支える「施設居住系サービス」に関するかたへインタビュー

施設居住系サービスとは、介護度に応じたケアを長期的に行う施設のことで、事業所ごとにサービスの内容もさまざまです。



柏市グループホーム連絡会 副会長・金田おみさん

柏市内のグループホームは現在27カ所あり、各地域に設置されています。認知症の症状は人によってさまざまですので、個別ケアが大切です。それぞれのグループホームに特色がありますので、是非ご見学いただければと思います。

在宅医として、各施設のかたと相談しながら安心して過ごせるように入居されているかたがたの健康管理をしています。また、夜間や緊急時にも駆け付けて、医療行為や看取りも行っています。

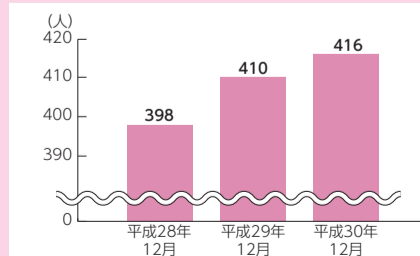


柏市医師会 在宅プライマリーケア担当理事・古田達之さん

さまざまな種類の施設居住系サービス

市では、高齢化がますます進んでいる状況に対して、介護サービスの整備を進めています。そのうち入所・入居系サービスとしては、在宅復帰を目指したりハビリ中心の「介護老人保健施設」や、原則、要介護3以上から利用できる「特別養護老人ホーム」、その他「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)」などがあります。今回ご紹介したグループホームでも別表のとおり、年々利用者数が増加しており、入居を希望するかたも増えています。今後も需給状況を確認しながら必要なサービスの整備を進めてまいります。

グループホーム利用状況の推移 (全423床)



次回は…「そして柏に住み続ける」